

平成三十一年度 入学式 式辞

新入生の皆さん、春の花が咲き誇るこの岐阜県立国際園芸アカデミーへのご入学おめでとうございます。ご列席の保護者の方々にも、心よりお祝いを申しあげます。本日、このように多くの皆様とともに、入学式を挙行できますことは誠に大きな喜びでございます。

また、このたびはご多忙にも関わらず、岐阜県議会の野島征夫副議長はじめ議員の皆様、可児市長様、そして多数のご来賓の方々のご臨席を賜り、誠にありがとうございます。

皆様方には平素から本校の教育運営に多大なご理解とご協力、ご支援を賜っておりますことに、この場をお借りしまして改めて厚く御礼申しあげます。

さて、国際園芸アカデミーは開校十六年目を迎え、当校の存在も社会的に認識されるようになり、毎年、全国から数多くの求人をしていただいております。花と緑の関係業界から本校への期待とニーズが大きくなっております。

また昨年二月には、本校の実践重視のカリキュラムが文部科学省より職業実践専門課程に認定され、新たなステップへの展開となっております。

これまでの十五年間で上級マイスター科も含めると二百名ほどの卒業生を社会に送り出し、それぞれが生産法人、園芸卸・小売業、造園施工、公園管理などの各分野において活躍しております。これらの卒業生の活躍が本校の評価を高めているものと確信しております。

本校での学びの特徴は、花と緑に関する高度な知識と技術を持ち、産業を現場で支える担い手として活躍できる実務者となるよう、分化した狭い専門分野だけでなく、植物を育てる生産分野、植物を飾る装飾分野、植物を植えて管理する造園緑化分野の3分野を広く学んだ上で、それぞれの分野を深く極めることにあります。このような学びを通じて、時代が求める豊かな感性と柔軟な発想を持つ、応用力のある人材の育成を目指しています。

今年度はいよいよ新たな元号となりますが、移り変わりの激しい厳しい社会情

勢の中では、「選択」と「覚悟」が求められます。新入生の皆さんは、まずは国際園芸アカデミーという入り口を選択しました。そして扉は開いています。

あとはよいよ「覚悟」です。

いろんな壁にぶつかっていいんです。壁にぶつかったのはそこまで進んできた証であり、壁の越え方は幾通りもあります。しかし壁の越えかたを教えることはできて実行、実践するのはあくまでも本人です。

そしていろんな問題が起こったっていいんです。あなた方はまだまだ未熟ですからいろいろと間違えます。間違ったら繰り返さないようにそれは間違いだと思えることが教育だと思っております。

わかるだけ覚えるだけが「知識」でなく、あくまでも出来ることが「知識」であり、そこを目指しているところが本校の存在意義であるものと考えております。

これから実習で扱うであろう土も種も水も肥料もそれだけでは、『資産』のままです。その資源を人々が求める『資産』に換えていくために必要なデザインワークともいえるべき能力、技能、技術の基礎となるべきものは国際園芸アカデミーでの2年間できっかけを与えます。

是非、今を大切に時間を無駄にせず、勉学に励んでください。そのために私たち教職員が一丸となりサポートしてまいりますので、学生の皆さんは悔いのない充実した学生生活を過ごして下さい。本日ご臨席いただきましたご来賓の皆様におかれましてもこれまでにも増してご支援、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

最後に、新入生の皆さん一人ひとりが心身ともに健康で、新たな友人や二年生を始めとした多くの良き縁に出会い、有意義な学校生活を送られることを心から願ひ、私の式辞といたします。

平成三十一年四月九日

岐阜県立国際園芸アカデミー 学長 今西 良共